



防災カフェ ☕

台風に備えましょう

8月、9月は台風の季節です。気象庁の過去30年間の統計によると、年間約25個発生している台風の4割以上がこの2か月間に発生しており、台風の接近数（台風が国内のいずれかの気象官署から300km以内に入った数）にいたっては、年間接近数の半分以上がこの時期で占められています。北海道においても、この時期の台風接近数は7月や10月の3倍以上にもなっています。

このような状況もあり、芦別市でも8月～9月にかけての平均降水量は年間で最も多く、7月の約1.4倍にもなるなど、降水量の増加に伴う土砂災害や浸水害等のリスクが高まる時期となっています。

一方で気象観測技術の向上に伴い、5日先までの進路予報が可能になるなど、余裕をもって台風

に備えることができるようになりました。台風の卵である熱帯低気圧の情報が伝えられたときは、その進路情報などに注意し、余裕をもって台風への備えを行うようにしましょう。

また、台風が温帯低気圧に変わったとしても、台風本来の性質が失われただけで、降水量の減少が期待されるわけではない点には十分な注意が必要です。

なお、進路予報で表示される予報円は、70%の確率で台風の中心が到達すると予想される範囲を示すものですから、予報円以外の範囲に進むこともあり得るということに十分留意してください。

●詳細 危機対策係 ☎27-7058



北海道シェイクアウトの実施について

北海道シェイクアウト（主催：北海道）は、大地震の揺れから身を守ることを目的に実施されるもので、決められた時間になりましたら各人がその場で概ね1分程度「基本行動」（安全行動の1-2-3）を実施するものです。誰でもどこでも簡単に参加することができますので、ぜひご参加ください。

○実施日時 9月1日(水)午前10時

○基本行動（安全行動1-2-3）の動作

①姿勢を低くする②頭を守る③動かない

○参加申込み <http://www.shakeout.jp/event/hokkaido/detail.shtml>



通行規制区間への進入の危険性について

道路で災害が発生した場合などには通行止め等の規制が実施されます。

通行止め区間へ脇道などから侵入すると、損壊した道路からの転落や、崩落した土砂に巻き込まれる等の重大な事故につながる恐れがあります。大変危険ですので指定された迂回路のご利用をお願いします。

なお、通行規制の状況は次のホームページで公表しています。

○通行規制情報（北海道地区道路情報のページ）
<https://info-road.hdb.hkd.mlit.go.jp/RoadInfo/index.htm>



●詳細 危機対策係 ☎27-7058

電気火災を防ごう

電気は、私たちの日常生活において必要不可欠なエネルギーとして社会の隅々まで深く浸透しています。そんな身近な電気製品ですが、使用者の不注意や誤った方法で使用した場合は、火災につながるおそれがあります。電気製品を使用する際には、次のことに注意しましょう。

○電気火災を防ぐポイント ①使用しないときには、コンセントから抜く②たこ足配線は、絶対にやらない③差込みプラグに付着したほこりなどは取り除く④傷んだコードは使用しない⑤コードは束ねた状態で使用しない

●詳細 芦別消防署保安係 ☎22-3106

水難事故を防ぐために

～夏の海 少しの油断が 事故のもと～

- ①指定された遊泳区域内で泳ぐ／遊泳禁止区域では、急な深み等があり多くの危険が潜んでいます。潮が沖に流れていく離岸流もあるので注意しましょう。
- ②子どもから目を離さない／波の力で倒れたり、沖に流される危険があります。保護者は水辺で遊ぶ子どもから目を離さず、近くにいてください。
- ③体調不良時や飲酒後は泳がない／体調不良時やお酒を飲んだ後は、呼吸が乱れやすく溺れる危険があるので泳がないようにしましょう。
- ④釣りをする時は、必ず救命胴衣を着用／高波時の防波堤や滑りやすい岩場、流れが速い岸边などには近づかず、安全な場所で行いましょう。
- ⑤水上オートバイは遊泳区域に入らない／危険な運転はせず、必ず救命胴衣を装着して安全航行に努めましょう。

●詳細 芦別警察署 ☎22-0110